



新撰養波波集卷之第一

春連歌上

見ふればさるるのまゝはしむ

多に良政弘相臣

驚れ人らむをきくか人をあはく

かゝるるはしむらうらむあまじ

事と都とてはるる春のまら

うらむはさかた昔のまら

うらむはさかた昔のまら

昔連歌下

おほくはさかた昔のまら

おほくはさかた昔のまら

おほくはさかた昔のまら

おほくはさかた昔のまら

おほくはさかた昔のまら

おほくはさかた昔のまら

夏連歌

おほくはさかた昔のまら

おほくはさかた昔のまら

おほくはさかた昔のまら

伊地知氏書冊



橋のくさやせりくくく
あともふふふふふふふ
かーくたの月さむらう
いかにあつむの又魚歌
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう

秋連歌下

風ふきまきまきまき
萩のくさやせりくくく
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう

秋連歌上

あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう

冬連歌

あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう
あつむの月さむらう

冬連歌

松抄きしつゝもあはれし

ありあけのこころの霜は月影く
人老にけしきもあはれ
薪の白きもあはれ
人老にけしきもあはれ
あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ

冬連歌

あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ
あはれしつゝもあはれ

あはれしつゝもあはれ

あはれしつゝもあはれ

あはれしつゝもあはれ

あはれしつゝもあはれ

冬連歌

あはれしつゝもあはれ

あはれしつゝもあはれ

あはれしつゝもあはれ

あはれしつゝもあはれ

宿く人々にいへば
くは夜のこゝろにひかりをたもたせ

雑連歌一

もみぢらんとひく山風をくらと
小松くすくすに音のわが音
きくはひひひのこゝろを
花はもくはらふあゝるむらて
しとぬ袖の露はくく玉
せりうはとまふうとくは木のて
くらすのりくも袖くから園

人く世のふくらうまきくははとて
かたそくくくくくくくくくく
けりうはひに世秋のこゝろを

雑連歌二

あつすくくくくくくくくくく
きくはひひひひひひひひひひ
はひひひひひひひひひひひひ
あふはひひひひひひひひひひ
いまたくくくくくくくくくく
あつまをきくくくくくくくくく

雑連歌三

あつまをきくくくくくくくくく
あつまをきくくくくくくくくく

あつまのききりのあつらひはあつたよ

雑連歌三

あつらひのあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

雑連歌三

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

雑連歌三

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

あつたよあつたよあつたよ

今乃夏... 新連寺... 生きて... 後乃... 神祇連寺

神祇連寺... 神祇連寺... 神祇連寺... 神祇連寺... 神祇連寺

神祇連寺... 神祇連寺... 神祇連寺... 神祇連寺... 神祇連寺

種玉庵宗祇法師真迹無疑者也

霜月七旬

古筆子傳

又... 法師名者... 疑者也

種玉庵宗祇法師真迹無疑者也

霜月上旬

古筆子傳

新撰甚及波集

種玉庵宗祇正筆

宗祇真蹟達哥卷 恒齋

宗祇法師真蹟卷及波集

伊地知文庫
文庫20
11



Handwritten text on a wooden slip, likely a manuscript fragment. The characters are arranged vertically and appear to be in a traditional Chinese script. The text is partially obscured by a small, light-colored rectangular mark near the top edge.



新撰菟玖波集一巻七枚

新撰菟玖波集内
大内政弘句抄出

宗祇ヨリ政弘ニ進セシ者歟

素直堂作

石筆子

